

芦屋の人



川口 平三郎(盛之助)氏

私は、尼崎の大自然に生まれ、小学校まではそこで住んでいました。子どものころ体が弱いはずでもなかつたことがありまして、中学を一年休んだことがありまして、大正末期から昭和の初めにかけて、尼崎は阪神工業地帯の中心で、工場

の煙害のひどかったころでした。そんなころで、六麓荘に住んでいた親戚に紹介され、昭和十三年からここへ住むようになりました。そのころの六麓荘は、松の木もまだ小さく、一階からでも大阪湾を眺め、夏は山から松林を渡る山風

が涼しく、秋には庭に松がいつぱい採れるたいへん結構な所でした。山側に作られた浄水場の水も豊かで、水道もタダ、戦前バスの木も朝の六時から夜の十一時まで運行しており、手を上げればどこでも止まってくれたので、私が甲陽中学に通つたのも便利でした。

「東洋一の健康地帯を標榜し、昭和三年に(株)六麓荘によって開発された六麓荘は、六麓荘浄水場が完成した昭和七年ごろから販売が始まったようです。開発当初は五、六軒の家しかなかったというのですが、私がここにきた昭和十三年ごろには七十軒ほどは建っていました。住宅のほかに、現芦屋大学や芦屋女子学校、芦屋学園中学校、高等学校、日本料理家、残月庵や茶店、あけぼのなどがありました。

国際ホテルでは洋食を、残月庵では和食を楽しむことができました。国際ホテルに泊まるための費用は大変高価でしたが、来る人は神戸大の一流財界人ばかりでした。また、女学校の校庭には丸くコンクリートで舗装されたローラスケート場もあり、住民は優先権があるというのでよく利用しました。昭和十四年には(株)六麓荘がバスの営業路線を阪神合同バス、現阪急バスに譲渡したため、戦時中しばらくはここからのバスがなくなり、省線芦屋駅まで歩いて通勤するしかなかったので大変困りました。

このとき、ローラスケート靴に乗りほろつきをブレーキ代わりに通勤したこともありました。ただし、これは数日で挫折してしまいました。芦屋市は昭和十五年に市制を敷いて現在に至っていますが、この年は幻の東京オリンピックが開催さ

れるはずの年でもあったので、国際ホテルもそれを当て込んで建てたものだと思います。しかし、戦時中には国際ホテルは堀抜製帽から松下電器産業の手に渡り、工業研究所の分室になりました。戦後はGHQがここを接収し、それが解除された後は芦屋女子学校がここを買って、今の芦屋大学が創設されました。

歴史の中で、六麓荘もさまざまな変化を経験してきました。現在は開発当初からの赤松も少なくなり、その後植えた桜も盛りを過ぎ、今はモミジの木が美しい紅葉を見せられるようになりました。今の六麓荘町で私の家は一番目に古いといつていいです。建町以来培ってきた自主の精神とともに、私たちが理想とした環境を次世代へ残したいものです。

●川口平三郎(盛之助)氏
世襲前の名は盛之助(もりのすけ)。大正十一年五月十一日生まれ。昭和十三年八月から、六麓荘在住。現在大阪塩業(株)取締役会長。

市では、地域の特性を生かしたまちづくりを進めるため、地域ごとに決められる都市計画である地区計画を地域住民との協働により決定しています。六麓荘町においても「六麓荘町地区地区計画」が都市計画決定され、このルールを建築確認とリンクさせるための条例化が市議会において全会一致で可決されました。このルールの中に一戸建ての住宅以外の新築を認めず、敷地面積の最低限度を400平米としたため、マスコミでは「豪邸条例」として注目されました。六麓荘町内会には、以前から地区計画と 同じような内容の自主協定があり、一切の営業行為の禁止や敷地の最低限度を規定していましたが、法的拘束力が乏しく、世代交代により開発業者による敷地の細分化や一戸建ての住宅以外の建物用途を求める動きが出始めたことにより、住民から市に法的拘束力のある地区計画の決定を求める動きがありました。

この地区計画の決定過程において住民間の話し合いが活発になり、まちづくりに対する住民意識が高まり、地区計画決定後、地区計画のルールとは別に自主協定を再構築し、更により良い六麓荘町に向けて、各々の建築計画に対して町内会と住民が個別に協議を行っています。

ウオーク & パスツアー

■日 時 10月28日(日) 午前8時15分に体育館・青少年センター前集合
■行 先 兵庫県神戸市磯峰高原等
■内 容 磯峰高原ウオーク(90分・30分コース有) 柳田国男生家・記念館、もちむぎのやかた等見学
■定 員 先着150人
■参 加 費 一般・4,000円/会員・学生3,500円
■申 込 込 込 申込用紙または、はがきに氏名・住所・電話・ファクス番号を記入し、10月19日(金)までに下記へ



問い合わせ スポーツ・青少年課 ☎22-7910/☎22-1633 (〒659-0072 川西町15-3)

秋の公民館講座・受講生募集

【サイエンス・トピックス～兵庫県の最先端技術を知ろう～】
■期間 10月13日～2月9日(土) 午前10時～11時30分 <全4回> ■会場 市民センター401室 ■内容 「Spring-8・進化する日本の技術」理化学研究所上級研究員・北村英男氏 / 「SACLAと京」慶應義塾大学理工学部教授・中迫雅由氏ほか ■定員 100人 ■受講料 1,600円

【芦屋病院公開講座—緩和ケア病棟をもつ新生芦屋病院】
■期間 10月13日～3月9日(土) 午後2時～3時30分 <全6回> ■会場 市民センター401室 ■内容 「中高年特有の婦人科疾患」産婦人科・木村俊夫医師 / 「高血圧の話」循環器内科・伊阪大二医師 / 「肝臓病他」消化器内科・臼井健郎医師ほか ■定員 100人 ■受講料 800円

【世界はニュースだけではわからない(時事経済)】
■期間 10月20日～3月16日(土) 午後2時～3時30分 <全6回> ■会場 市民センター401室 ■内容 ニュースだけではわからない本質を解説 / 「民主党政権のゆくえ」 2回目以降のテーマ・講師は直前に連絡 ■定員 120人 ■講師 産経新聞社編集局編集委員・安本寿久氏 ■受講料 2,400円

【文化の歴史 Part7】
■期間 10月24日～3月27日(水) 午前10時30分～正午 <全6回> ■会場 市民センター401室ほか ■内容 関西とは何か / オリンピックと国際連合 / 西国街道と芦屋の里 / 4回目以降は「文化の歴史」の本質に迫る、ミステリーセミナー ■定員 60人 ■講師 園田学園女子大学名誉教授・田辺真人氏 ■受講料 2,400円

【パソコン講座—コンピュータの使い方と年賀状を作る】
■期間 10月27日～11月17日(土) 午前9時30分～11時30分 <全3回> ■会場 市民センター201室・202室 ■内容 パソコンでデジカメデータの編集や、ワードで年賀状を作る ■対象 簡単な文字入力ができ、ワード2007が2010が入ったWindowsノートパソコンを持参できるかた ■定員 20人 ■講師 中村米三郎氏 ■受講料 1,200円

【申し込み】 はがきかファクスに、講座名・住所・氏名・電話番号を記入し、9月24日(月) 消印有効 までに下記へ。応募多数の場合抽選(市民優先)
問い合わせ 公民館 ☎35-0700/☎31-4998 (〒659-0068 業平町8-24)

谷崎潤一郎記念館の催し

【文学館講座】 作家・柳谷郁子が語る ～名作の愉(たの)しみ～
■日時 9月27日(木) 午前10時30分～正午 ■内容 吉行淳之介作「あしたの夕刊」『名短編、ここにあり』北村薫・宮部みゆき編 ちくま文庫よりを取り上げ作品の背景・作家の心情などを講師より解説 ■講師 作家・柳谷郁子氏 ■定員 16人 ■受講料 2,300円 ■申し込み 下記へ

【谷崎文学朗読会】第3回文豪の美意識を読む～「陰翳礼讃」と「夢喰う虫」
■日時 10月14日(日) 午後2時～3時30分 ■内容 谷崎潤一郎作品「陰翳礼讃」と「夢喰う虫」の朗読と解説 ■朗読 朗読グループRS T(加藤順子氏・前田綾子氏) ■解説 井上勝博当館学芸員 ■定員 先着30人 ■受講料 1,000円 ■申し込み 下記へ

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☎38-3244 ☎ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp

【学芸員によるギャラリートーク】
■日時 9月23日(日) 午後2時～ ■会場 展示室 ■内容 学芸員が、展示品の解説と芦屋の歴史を紹介します ■参加費 要観覧料(一般300円・大生200円)
問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432 (〒659-0052 伊勢町12-25)

ハートフル福祉公社の催し

■親睦パスツアー
■日 時 10月17日(水) 午前8時30分～午後5時30分
■行 先 琴ノ浦温山荘園・黒潮市 場(昼食)・明治ヨーグルト工場見学
■定 員 先着40人<要予約>
■参 加 費 4,500円(会員3,500円)
■申 込 込 込 下記へ

■介護教室
■日 時 9月29日(土) 午後2時～3時30分
■会 場 市民センター203室
■内 容 「お手軽エクササイズで介護予防」
■講 師 芦屋市体育協会・松永信郎氏
■定 員 先着30人<要予約>
■持 ち 物 汗ふきタオル *動きやすい 服装で
■申し込み 下記へ

問い合わせ 芦屋ハートフル福祉公社 ☎38-3122

保育所の「体験保育」に参加しませんか？

親子で保育所の子どもたちと一緒に遊び、給食を食べて集団生活を体験します。
問い合わせ こども課 ☎38-2045

保育所	所在地 電話番号・ファクス	体験保育 午前9時30分～11時40分
精道保育所	精道町9-16 ☎32-0510 ☎34-4736	11月13日～15日 2歳児の親子3組 費用1,000円
打出保育所	宮川町4-10 ☎☎22-5725	10月16日～18日 2歳児の親子4組 費用1,000円
大東保育所	新浜町8-1 ☎☎22 0089	10月17日～19日 1・2・3歳児の親子各1組 費用1,000円
新浜保育所	新浜町1-1 ☎☎32 0410	10月17日～19日 2歳児の親子2組 費用1,000円

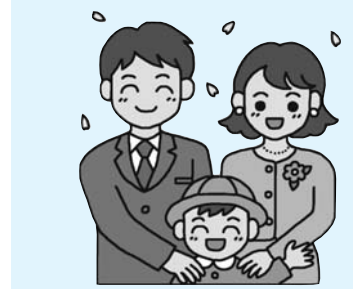
【申し込み方法】
参加希望のかたは、はがきかファクスに住所・保護者名・電話番号・児童名・児童の生年月日・兄弟姉妹の有無・アレルギーの有無を明記し、9月21日(金) 消印有効 までに上記の保育所へ。
希望者多数の場合は抽選。結果は10月5日(金) まで、参加者へのみはがきで通知します。
申し込みは、いずれか1カ所の保育所に限ります。
(対象児童の年齢)
■1歳児(平成22年4月2日～23年4月1日生まれ)
■2歳児(平成21年4月2日～22年4月1日生まれ)
■3歳児(平成20年4月2日～21年4月1日生まれ)



平成25年度 4月の新入園児を募集します

問い合わせ 教育委員会管理課 ☎38-2085

市内自由園区制です。(小学校には校区があります。)
平成23年度から、小槌・朝日ヶ丘・潮見の3幼稚園で預かり保育を実施しています。
10月4日～12日・平日の午後3時～4時
■申込期間
■申込会場 右記の各幼稚園
■対 象 市内在住で、平成19年4月2日～平成21年4月1日生まれの5歳児(1年保育)と4歳児(2年保育)
■申し込み 右記のとおり
できるだけ、各園の受付指定日にお申し込みください。
■願 書 10月1日(月)から、各園で配布します。
【ご注意】
定数を超えた場合、ご希望の園に入れない場合もあります。
入園願書の提出は、1園のみに限ります。



芦屋シティグラフ 好評発売中!

写真とイラストを多用し、芦屋の自然や史跡・名所、市内の施設やまちの楽しみ方を紹介。後半には、行政の動きや統計などの情報も掲載しています。
眺めるだけでも楽しい1冊です。
ぜひ、一度手に取ってご覧ください。
(A4判・52ページ/全カラー刷り)
■発売所 市役所北館1階行政情報コーナー・ラポルテ市民サービスコーナー
■定 価 300円
問い合わせ 広報課 ☎38-2006

「芦屋市住みよいまちづくり条例改正(素案)」に関する市民意見を募集

問い合わせ 都市計画課 ☎38-2071/☎38-2164 (〒659-8501 住所不要) ☎info@city.ashiya.hyogo.jp

市では、地域住民が自らの活動でよりきめ細かいルールを創設することができる「(仮称)まちづくり協定制度」の設立等をするため、同条例等の改正を進めて行きたいと考えています。このたび、条例改正の素案をまとめましたので、次のとおり市民の皆さんのご意見を募集します。

【応募要領】
■募集期間 九月二十五日から十月二十四日(平日・執務時間内)
■提出方法 ご意見を文書様式自由にし、都市計画課窓口へ持参または郵送、ファクス・Eメールで、上記へ。
電話窓口での口頭による意見は受け付けていません。
■関 覧 九月十四日金から市ホームページのほか、都市計画課市役所北館一階行政情報コーナー・ラポルテ市民サービスコーナーでもご覧いただけます。

動物慰霊祭

動物愛護週間(9月20日～26日)を迎えるにあたり、芦屋市霊園の動物塚に眠る、愛犬・愛猫等動物の霊を慰めるため実施します。
■日 時 9月21日(金) 午前10時30分～正午
■会 場 芦屋市霊園動物塚前(雨天時・芦屋市霊園事務所2階会議室)



問い合わせ 芦屋動物愛護協会事務局 ☎38-2033(経済課内)

【各幼稚園の所在地と受付指定日】

幼稚園名	所在地	電話番号	受付指定日
精道幼稚園	川西町11-10	☎22-0208	10月4日(木)
宮川幼稚園	浜町1-20	☎22-5995	10月4日(木)
岩園幼稚園	岩園町24-3	☎22-5038	10月9日(火)
小槌幼稚園	打出小槌町15-7	☎22-4885	10月4日(木)
朝日ヶ丘幼稚園	朝日ヶ丘町10-3	☎32-0278	10月5日(金)
西山幼稚園	西山町22-15	☎32-5457	10月5日(金)
伊勢幼稚園	伊勢町13-14	☎31-8313	10月4日(木)
潮見幼稚園	潮見町1-3	☎34-0710	10月4日(木)
浜風幼稚園	浜風町1-2	☎31-1505	10月5日(金)

運動会の代休日は願書の配布・受け付けは行いません

福祉センターからのお知らせ

平成25年度 エントランスコンサート 企画の募集
福祉センターでは、エントランスホールのグランドピアノを用いて、歌や演奏を披露するグループを募集します。
■開 催 日 毎月第4日曜日・午後2時から1時間程度
■対 象 市民もしくは市民を含むグループ
■内 容 福祉文化を高める目的に沿ったコンサート
■申し込み 企画書に必要事項を記入し、10月31日(水)までに上記へ。選考の上決定します。
企画書は、福祉センター総合受付に置いてあります。

エントランスコンサート part26 「セピア色の調べⅢ」
■日 時 9月23日(日) 午後2時～
■会 場 保健福祉センターエントランスホール
■曲 名 ムーンリバー・星に願いをほか
■出 演 中谷 勉(ピアノ)
お車でのご来場はお控えください

問い合わせ 福祉センター ☎31-0612